

## 2019年度 燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査 (第2回 5月上旬分)

香川県水産試験場 環境資源部門 (藤田)  
TEL 087-843-6511/ FAX 087-841-8133

### ○カタクチイワシ卵の出現状況

卵の出現数は前年、平年より多かった。

前年	2018年5月2日	(7点の平均)	8.9 個/m <sup>3</sup>
前回	2019年4月18日	(7点の平均)	5.1 個/m <sup>3</sup>
今回	2019年5月7日	(7点の平均)	58.4 個/m <sup>3</sup>
※5月上旬の平年値			25.2 個/m <sup>3</sup>

### ○カタクチイワシ仔魚の出現状況

仔魚の出現数は前年と同程度で、平年より多かった。

前年	2018年5月2日	(7点の平均)	7.3 尾/m <sup>3</sup>
前回	2019年4月18日	(7点の平均)	0.1 尾/m <sup>3</sup>
今回	2019年5月7日	(7点の平均)	9.4 尾/m <sup>3</sup>
※5月上旬の平年値			2.7 尾/m <sup>3</sup>

### ○プランクトン調査

定点H2では夜光虫(ノクチルカ)、その他の定点ではコシノディスクス(円筒形の珪藻)が優占した。

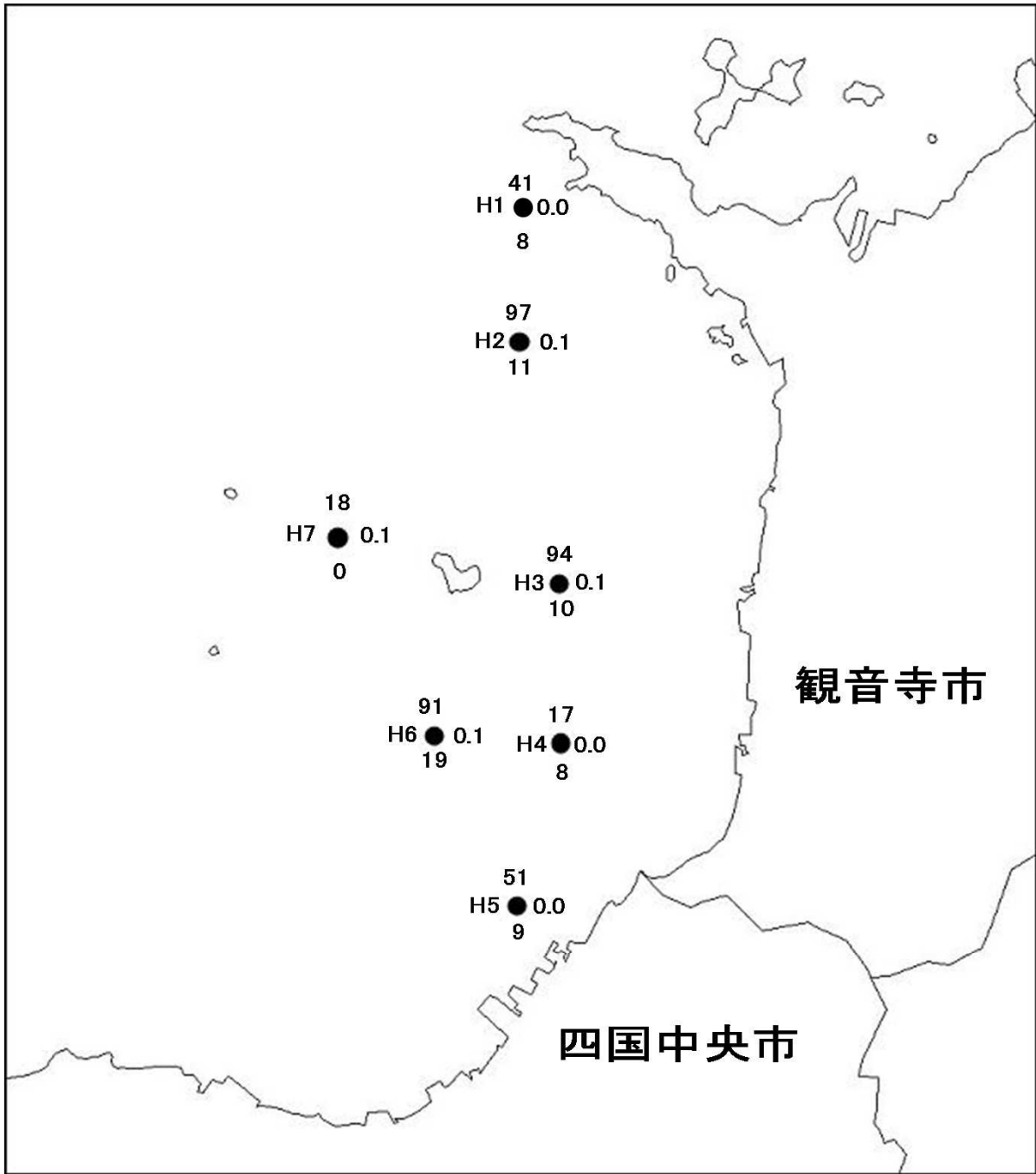
カタクチイワシの餌となるカイアシ類量は平年よりも少なかった。

### ○クラゲ調査

クラゲは全般的に少なかった。

次回の調査は5月17日(金)に実施予定

カタクチイワシ卵稚仔採集状況( 2019/5/7 )



●の上側がカタクチイワシ卵数/m<sup>3</sup>を、  
 下側がカタクチイワシ仔魚数/m<sup>3</sup>を、  
 右側がカリアシ類量(ml/m<sup>3</sup>)を示す。  
 ※カリアシ類量は、プランクトン採集量  
 (0.335mm以上)に占めるカリアシ類のおおよその割合から算出した  
 概算値。

21 ← 卵数  
 凡例 ● 0.6 ← カリアシ類量  
 5 ← 稚仔数

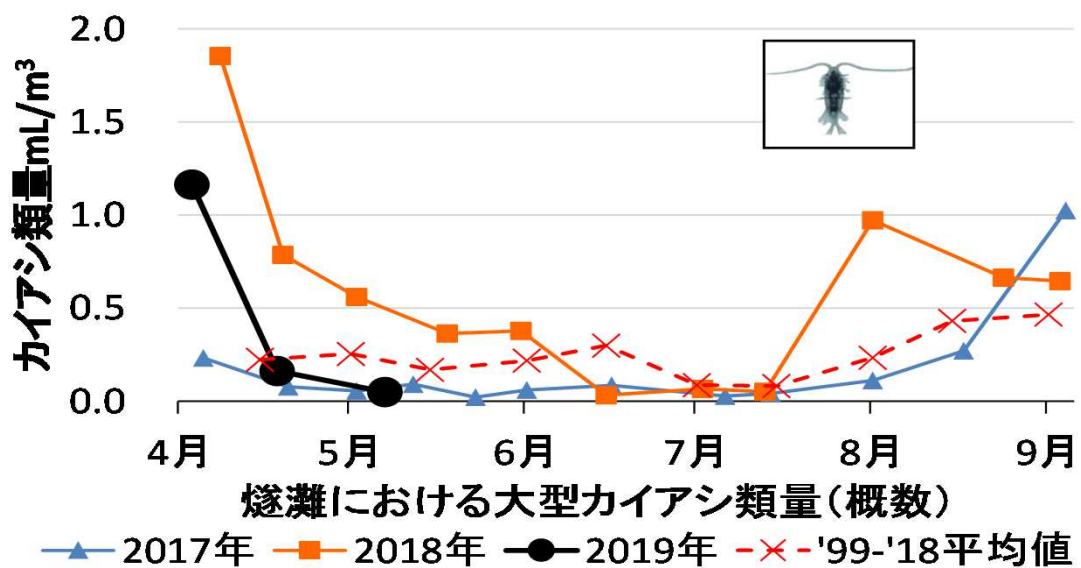
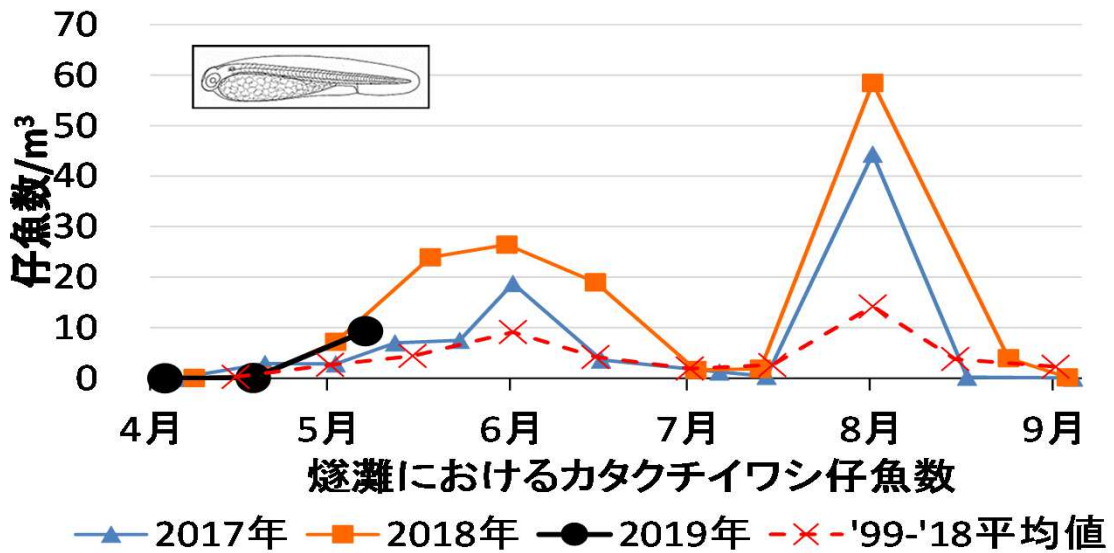
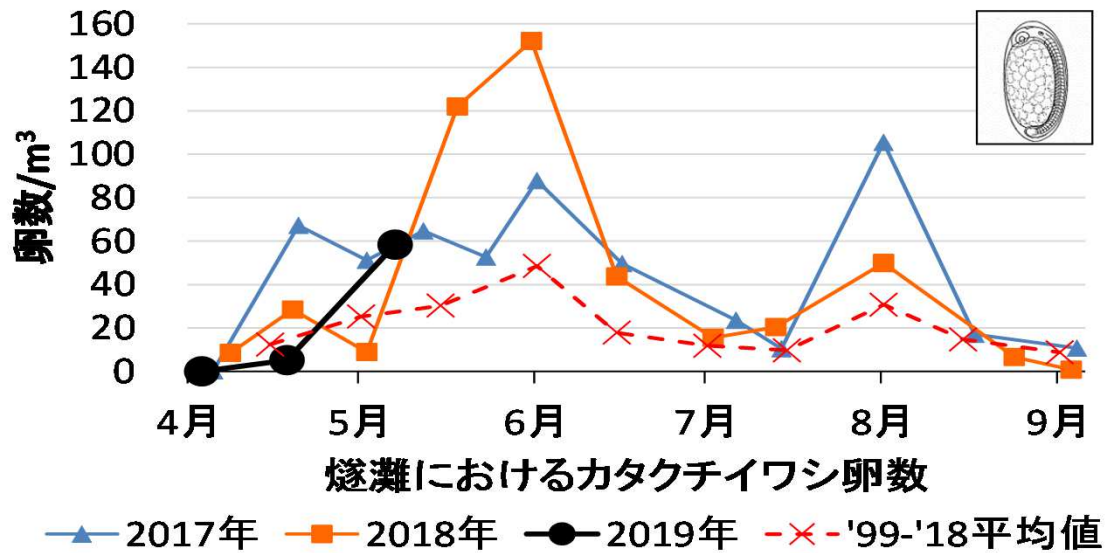
2019 年度燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査(2回目)

調査日: 2019/5/7

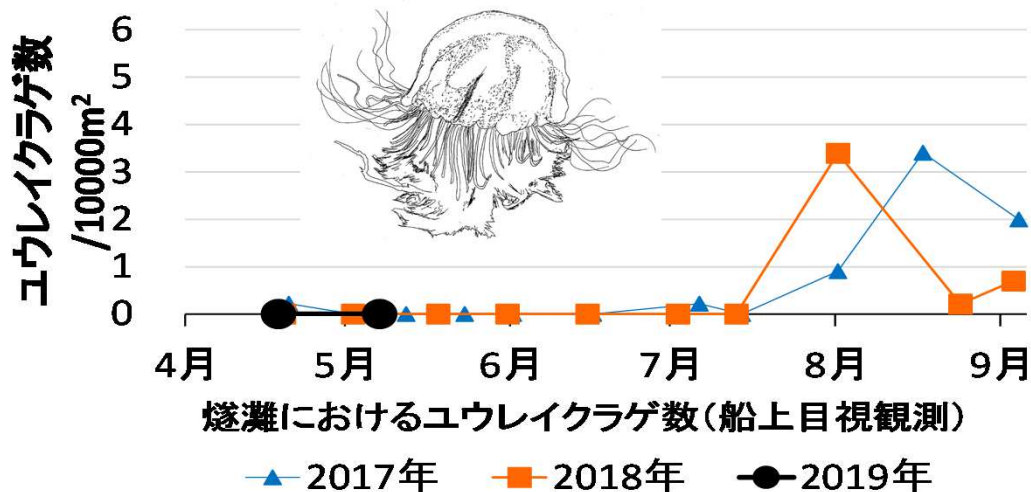
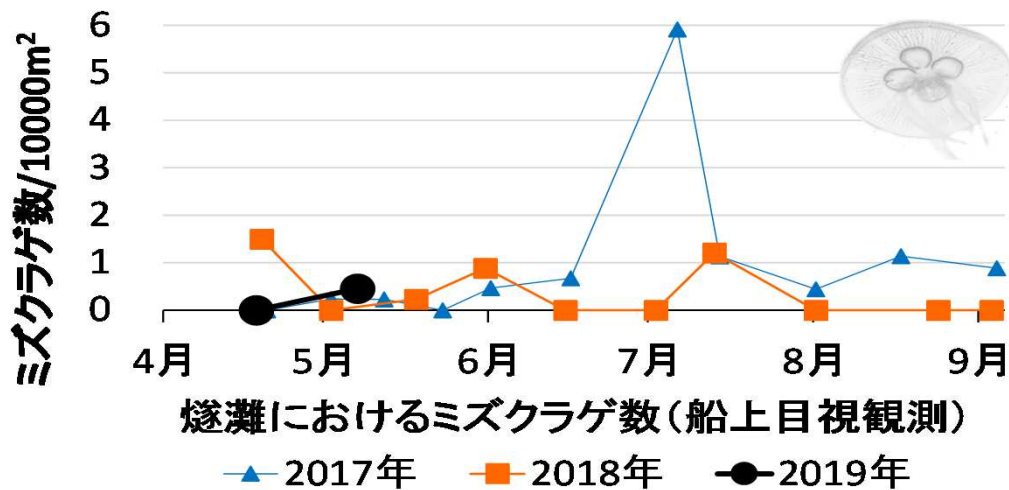
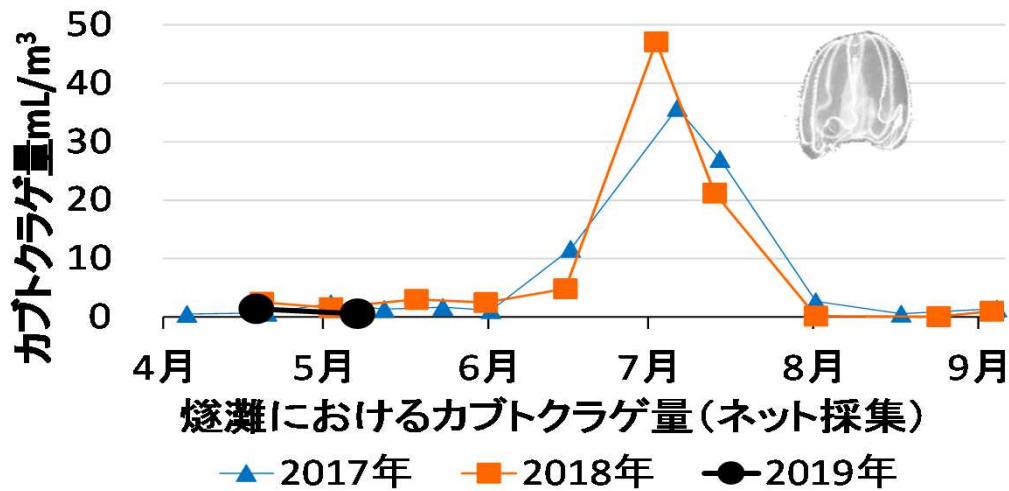
S T	曳網水深 (m)	表層水温 (°C)	カタクチ卵	マイワシ卵	その他卵	カタクチ仔魚	マイワシ仔魚	その他稚仔
H1	20	18.4	41	0	9	8	0	0
H2	20	18.3	97	0	2	11	0	1
H3	20	18.2	94	0	4	10	0	0
H4	20	16.8	17	0	11	8	0	1
H5	20	17.5	51	0	7	9	0	0
H6	20	17.5	91	0	17	19	0	0
H7	20	17.2	18	0	4	0	0	0
平均		17.7	58	0	8	9	0	0

※採集数はm<sup>3</sup>当たりの数

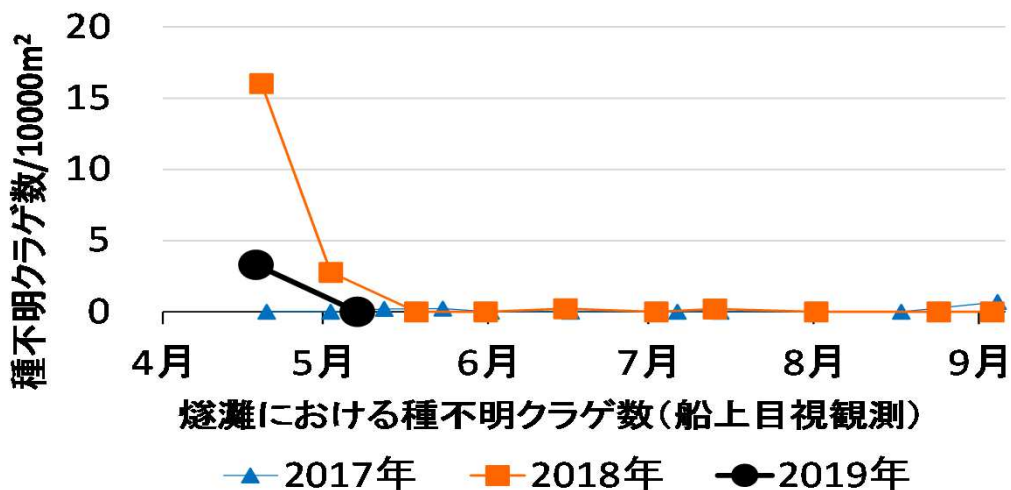
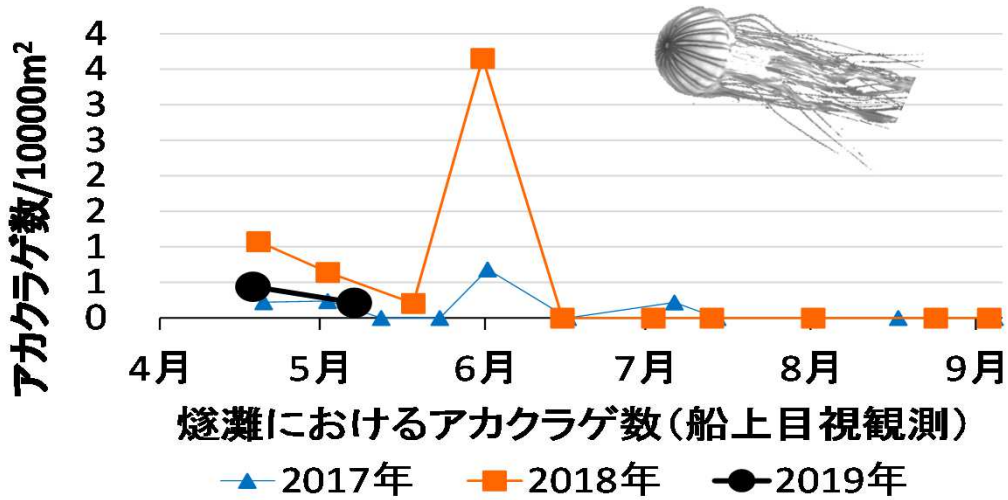
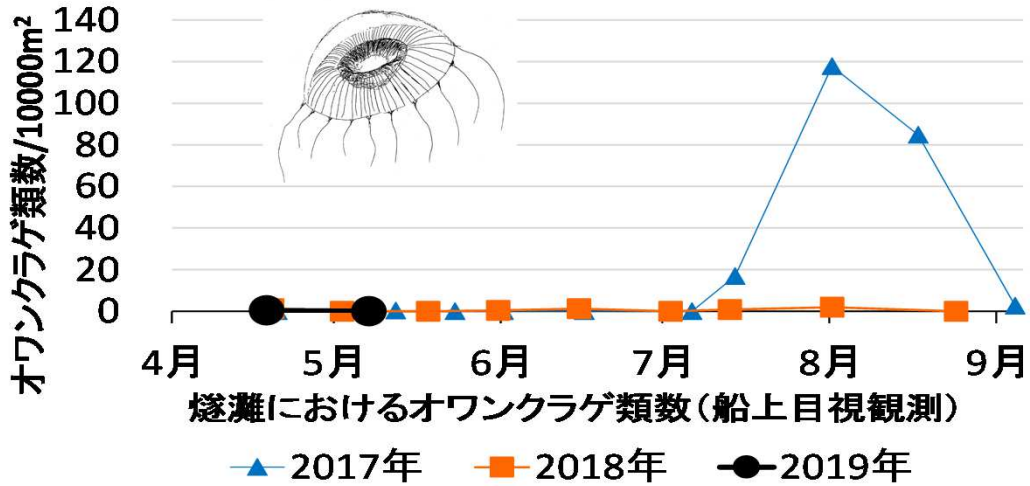
※卵稚仔数は小数点以下第一位を四捨五入した値



※カイアシ類量は、プランクトン採集量(沈殿量)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出しています。餌料環境の目安としてご参照ください。



※カブトクラゲは丸特Bネットによる全定点の平均採集量。その他はH1～H7の7点における平均船上観測数(船速平均7ノットで3分間航走する間に、船側両舷5mで視認できるクラゲの数)。クラゲ量の目安としてご参照ください。  
 ※この報告の情報により不利益等が発生した場合において水産試験場は何ら責任は負いません。



※H1～H7の7点における平均船上観測数(船速平均7ノットで3分間航走する間に、船側両舷5mで視認できるクラゲの数)。クラゲ量の目安としてご参照ください。

※この報告の情報により不利益等が発生した場合において水産試験場は何ら責任は負いません。